

【社会起業研究科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

本研究科は、研究科・専攻の目的に沿って、以下の能力・知識・技能・態度を身に付け、修了に必要な単位数を修得するなどの要件を満たし、持続可能な社会の実現に貢献できる者に学位を授与します。

【DP1】社会起業家として、持続可能で多様性を持った社会の実現という目的に共感できる。

【DP2】経営学の5分野（組織行動・人的資源管理、技術とオペレーションのマネジメント、マーケティング、会計・ファイナンス、経営戦略）について習得している。

【DP3】現代社会の既存の制度、組織、システムに対して批判的な視点を持ち、社会的課題の発生構造を分析できる。

【DP4】経営学の知識・技術を活用しながら、グローバル化や技術革新などの環境変化を踏まえて、社会的課題解決のための戦略を立案し、起業するための能力を身に付けている。

【DP5】社会的課題解決の協力要請のためのプレゼンテーションを行い、関係者の組織化を進め、プロジェクトを運営するなど、人的ネットワークを構築しながら社会起業家として自立できる。

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、授業の到達目標の達成度等	研究科委員会で自由回答を中心に意見交換する。 （学修者レベル） 学修改善 （授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （研究科レベル） カリキュラムマネジメント
2	成績分布	毎年、各学期末	学生	GPAの分布、各科目の成績分布、単位取得状況	修了困難が予想される学生について個別指導に活用する。 （授業レベル） 授業、個別指導とその改善
3	進路状況調査	毎年、各学期末	学生	卒業生の進路状況	（研究科レベル） 研究科独自調査（厚労省、経産省関連）と合わせてカリキュラムマネジメントに活用
4	起業・事業開発最終報告書審査（学位審査）	年1回実施		コースループリックを活用した審査	（授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （研究科レベル） カリキュラムマネジメント
5	教育課程連携協議会、アドバイザリーボード	年2回開催		研究科の活動状況の報告と意見聴取（広報、入試、教育、学位取得、起業状況等）	（授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （研究科レベル） カリキュラムマネジメント
6	厚労省教育訓練現況報告書及び受給者アンケート	年1回 5月中下旬実施		修了生について、入学前就労状況、研究科満足度、入学後就労状況、起業状況など	（授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （研究科レベル） カリキュラムマネジメント
7	経産省大学発ベンチャー設立状況調査	年1回11月実施		修了生について、起業状況など	（授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （研究科レベル） カリキュラムマネジメント